

10/25/12 日報

見附市の総合特区事業

「健幸」へ情報配信

来月から 市民に端末貸し出し

見附市は「健幸長寿社会を創造するスマートウエルネスシティ総合特区」の事業として、11月から市民に貸し出したタブレット端末に健康情報を配信する。情報から健康管理の正しい知識を身に付けよう狙い。期間は今月3月まで。特区は、医療費抑制のための健康増進策の推進を目指して同市が新潟市など県内外の6市と共同で申請。昨年末に政府の指定を受けた。情報配信は、筑波大の協力を得て、見附市だけで行われる。端末は200世帯への貸し出しを見込む。週1回程度、運動の効能について同大のスポーツ医学系の情報などが配信される予定。このほか、同大の研究成果を基に日経BP社が作製する広報誌を来年3月までの間に3回、全戸に配布する予定だ。

配信サービスの利用希望は24日現在約190世帯で、市は募集を続けている。対象は市内の40〜70歳の家族がいる世帯。問い合わせは市健康福祉課いきいき健康係、0258(61)1370。

2012/10/25
新潟日報